

メッシュホースコンテナ用収納台

取扱説明書

KS-51G

も く じ

ご使用になる前に

- はじめに…………… 1
- 安全のため必ずお守りください…………… 2
- 各部の名称とはたらき…………… 4

ご使用にあたって

- 使用前の準備…………… 5
- 作業のしかた…………… 5

知っておきたいこと

- 定期点検…………… 7
- 長期格納…………… 7

その 他

- 仕様…………… 8
- 安全確認一覧表…………… 9
- 純正部品表…………… 10

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびは、本製品をお買上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。

本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。


なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。


お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

■ 危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

 **警告** ……もし守らないと、重傷事故を引起こすことがあります。

 **注意** ……もし守らないと、負傷事故を引起こすことがあります。

2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

 **重要** ……もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

■ ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

警告

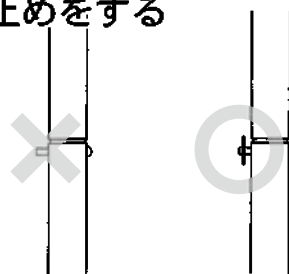
- 本機は空のメッシュホースコンテナを車輛へ容易に積降するためのスタンド、及び短距離の移動用収納台として設計されています。このほかの用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

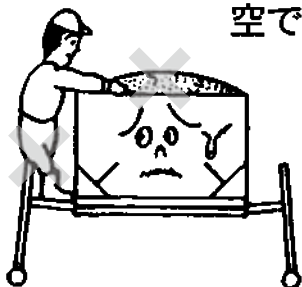
使用前にこの取扱説明書をよく読む

機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

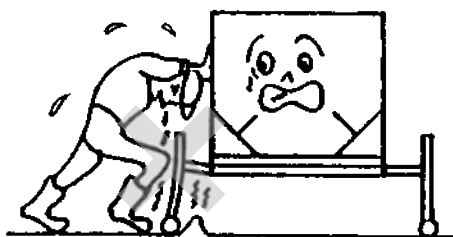
ピンはスナップピンで確実に抜け止めをする



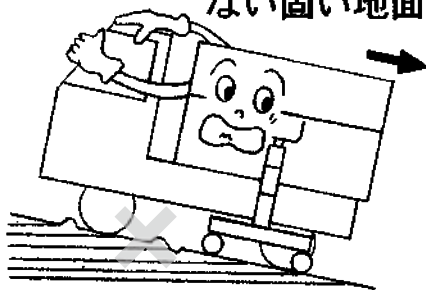
荷はのせない・人もものらない
空で使用



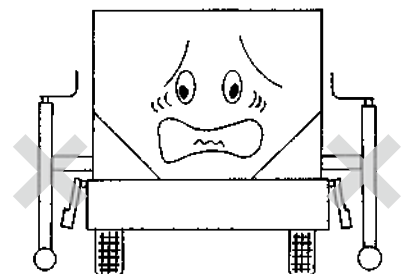
移動はゆっくり、段差の乗り越えは持ちあげて



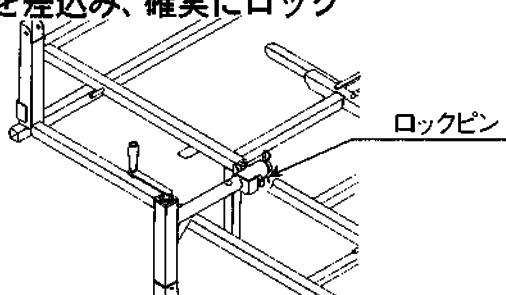
脱着作業・移動は水平で凹凸のない固い地面で



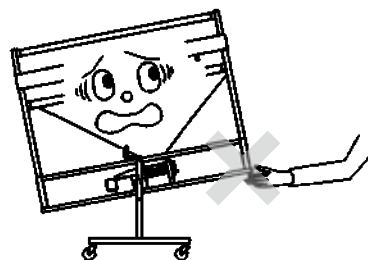
走行時は必ずサポートを外す



移動・保管時は必ずロックピンを差込み、確実にロック

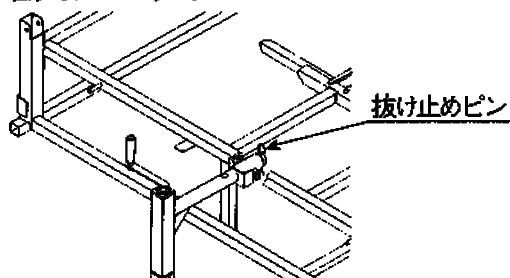


回動はビーム・ポスト・メッシュ袋を格納してから

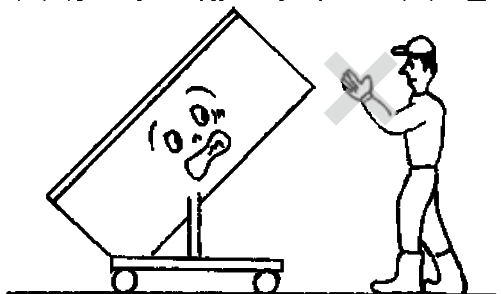


⚠ 注意 安全のため必ずお守りください

回転時は抜け止めピンを
確実にセット

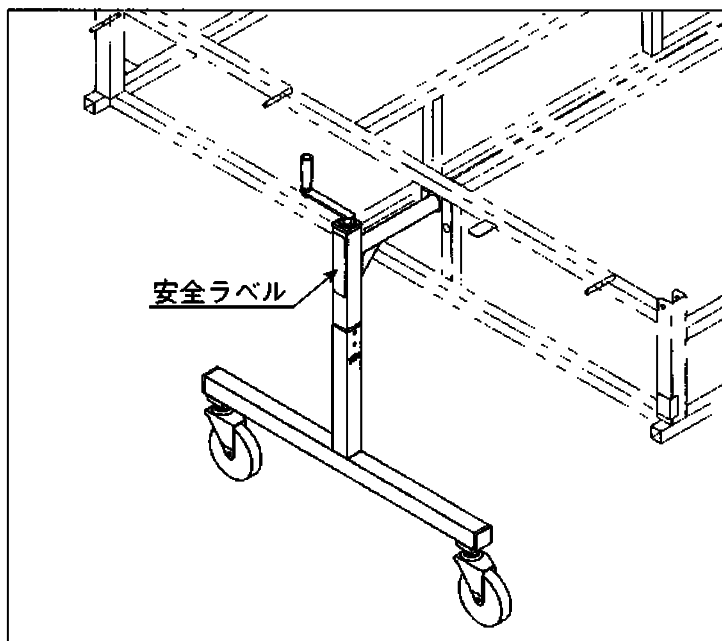


回転は手を離さずゆっくりと



使用前に安全ラベルをよく読む

- リバースキャスターには次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。



- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シンナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼付けされている部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

22840-2111-1

⚠ 警告

- 回転は必ず支柱を格納状態にして行うこと。
- 回転はゆっくりと行い、絶対に途中で手を離さないこと。
- 回転後は必ずロックピンを差し込んでロックし、回り止めをすること。
- 移動時は必ずロックピンを差し込んでロックし、回り止めをすること。回り止めをしないと転倒することがあります。
- 移動は凸凹のない平面でゆっくりと行ない、傾斜地では使用しないこと。

22840-2111-1

各部の名称とはたらき

抜け止めピン

回動時の外れ防止に
使用します。

ハンドル

メッシュホースコンテナの
高さを調節します。

サポート

メッシュホースコンテナを
車輦に乗せた後は外します。

高さ調節用ピン

ポスト(スライド)の上下
調節をするためのピンです。

ポスト(スライド)

車輦の荷台高さに合わせて
上下調節します。

ロックピン

移動時の外れ防止
および回り止めに
使用します。

キャスタ

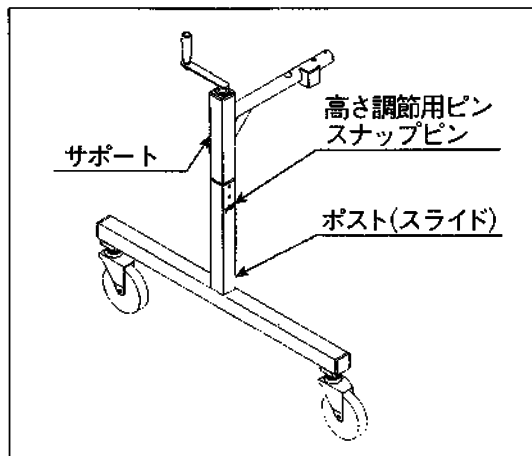
使用前の準備

⚠ 注意

- 高さ調節用ピンは、スナップピンで確実に抜け止めをすること。

1. サポートとポスト(スライド)の組付け

- ① サポートにポスト(スライド)を差込み、ポスト(スライド)が一番奥まで入る穴に合せる。
- ② ピン穴を合せ、高さ調節用ピンを差込み、スナップピンで止める。
ピン (8-52) 2個
スナップピン 2個



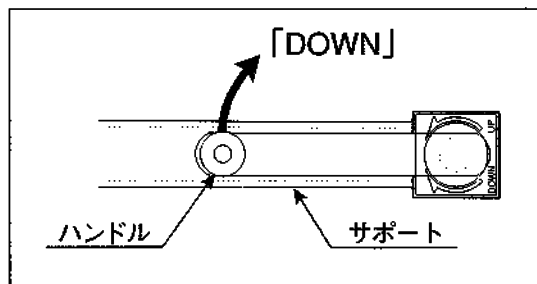
作業のしかた

⚠ 注意

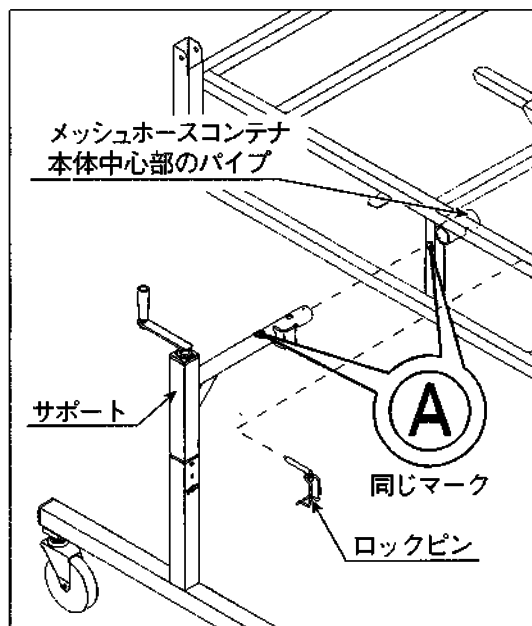
- 作業する場所は水平で凹凸のないコンクリートなどの平面で行なってください。傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地面では倒してしまうおそれがあり危険です。
- 必ず、メッシュホースコンテナは空の状態で行なってください。

1. 収納台の取付け (トラックよりメッシュホースコンテナを降す場合)

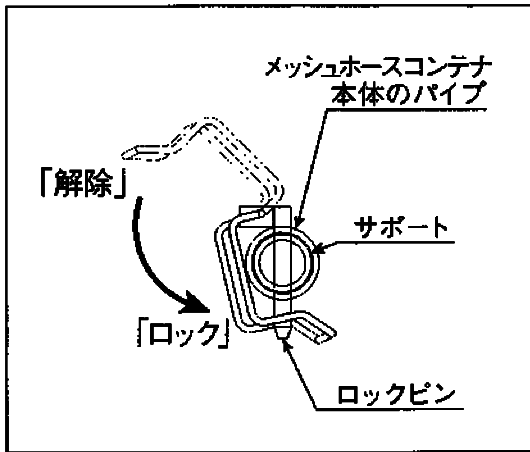
- ① 車輛の荷台の扉を三方開く。
- ② サポートのハンドルを「DOWN」方向へ、止まるまで回す。



- ③ サポートをメッシュホースコンテナ本体中心部のパイプに奥まで差込む (Ⓐマークの付いたサポートが本体のⒶマークの側に入るようにする)。



- ④ピン穴にロックピンを差込み、ロックする。



警告

- 移動時は必ずロックピンを使用してください。ロックピンを使用しないと、メッシュホースコンテナが落下・転倒する危険があります。
- ロックピンは確実にロックしてください。ロックしていないと、移動時にピンが外れ、メッシュホースコンテナが落下・転倒する危険があります。

2. 移動のしかた

注意

- メッシュホースコンテナが空の状態で使用してください。
- 移動は凹凸のない固い平面で、ゆっくりと行なってください。
- 段差やくぼみを乗り越えるときは必ず、メッシュホースコンテナ本体を持ち上げるか、敷板を利用して乗り越えてください。段差やくぼみで押し引きすると、ポスト（スライド）やサポートが変形したり破損し、倒れる危険があります。
- 周囲の障害物などの危険がないか、安全を確認してから移動してください。

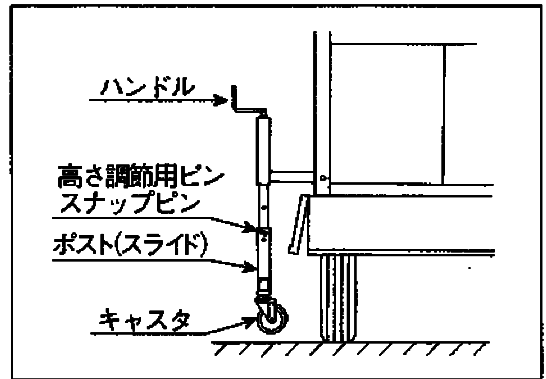
3. 収納台の取外し（車輦へメッシュホースコンテナを載せる場合）

注意

- メッシュホースコンテナを下げるときはメッシュホースコンテナと車輦荷台の間に手をはさまないようにじゅうぶん注意してください。
- 走行する場合は必ずサポートを取外してください。

- ①メッシュホースコンテナを車輪の荷台上まで静かに移動する。
- ②サポートのハンドルを「DOWN」方向へ回し、キャストが地面から離れる位置までメッシュホースコンテナを下げる。
- ③左右のサポートを取外す。

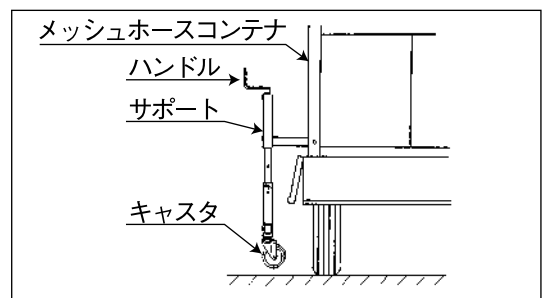
- ⑤ポスト（スライド）の高さ調節用ピンを抜き、キャストが地面に一番近い位置で合った穴に高さ調節用ピンを差込み、スナップピンで止める。



注意

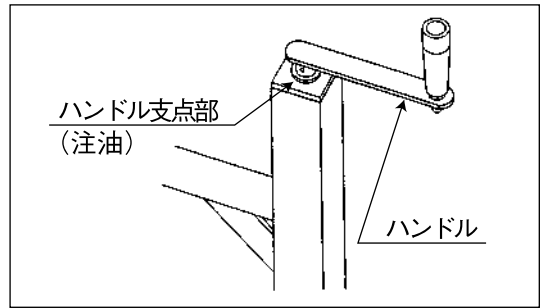
- スナップピンは高さ調節用ピンが抜けられないように確実にセットしてください。スナップピンをセットしてなかったり、中途半端ですと途中で脱落し、ポスト（スライド）が外れ、メッシュホースコンテナが落下する危険があります。

- ⑥ハンドルを「UP」方向へ回し、メッシュホースコンテナを上げる。



定期点検

- ①シーズン使用前と使用後は、ハンドル支点部にギヤオイルを適量注油してください。(2箇所)



長期格納

警告

- 収納台をセットして保管する場合は転倒しないよう平らな場所におき、人が乗ったり、物を載せないようにしてください。
- メッシュホースコンテナを回動する際は、必ずメッシュホースコンテナの支柱を格納状態にし、本機型式 KD-200シリーズのときは、ゴムロープで支柱の開き防止をして下さい。(図2参照) 本機型式 KD-131GLのときは、ゴムワで支柱の開き防止をして下さい。(図3参照) 開き防止をしないまま回動すると支柱が開き転倒する危険があります。
- 回動のためロックピンを外す前に、必ず抜け止めピンをしっかりと差込んでください。
- 回動はゆっくりと行ない、絶対に途中で手を離さないでください。
- 回動後は必ずロックピンを差込み、ロックして回り止めを行なってください。
- 保管中はお子さんには絶対に触れさせないよう、また近づけないように注意してください。

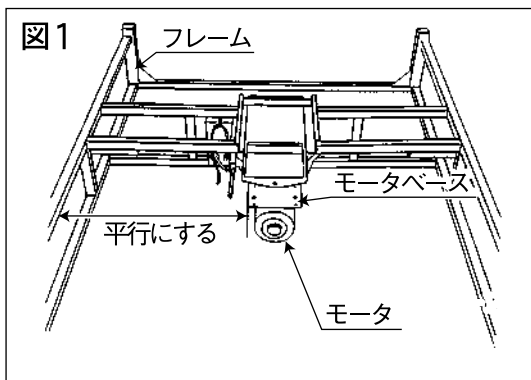
格納要領

■ 収納スペースを減らすため、メッシュホースコンテナを立てた状態で収納台を使用することもできます。

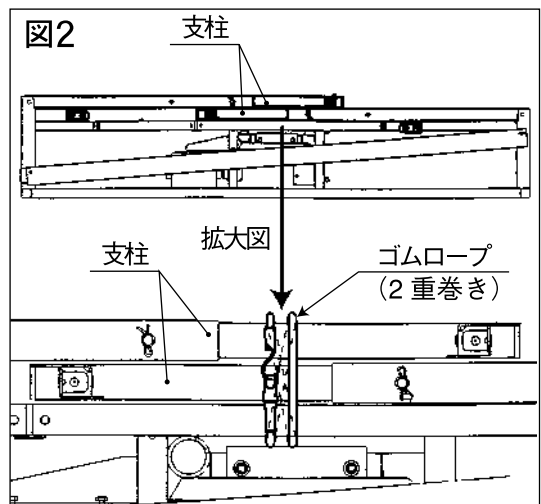
- ①メッシュホースコンテナのモータベースを図1の位置にする。

注意

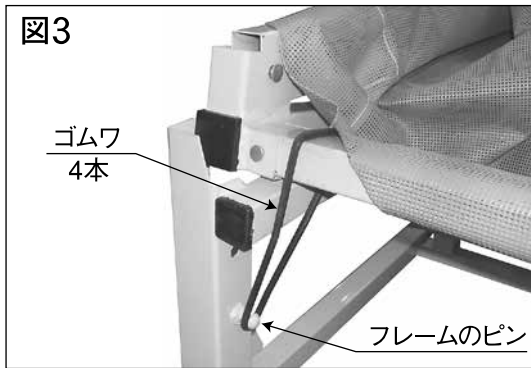
- 回動を行う際は、モータベースを必ず図1の位置にしてください。他の位置で回動すると、フレームを立てた際にモータベースが不意に回転し、危険です。



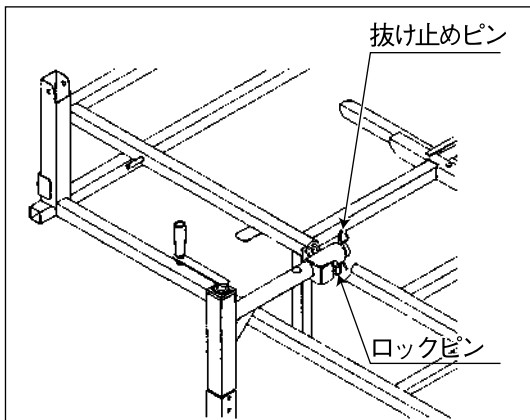
- ②本機型式 KD-200シリーズのときは、メッシュホースコンテナの支柱を格納状態にし、ゴムロープ等で支柱の開き防止をする。(図2参照)



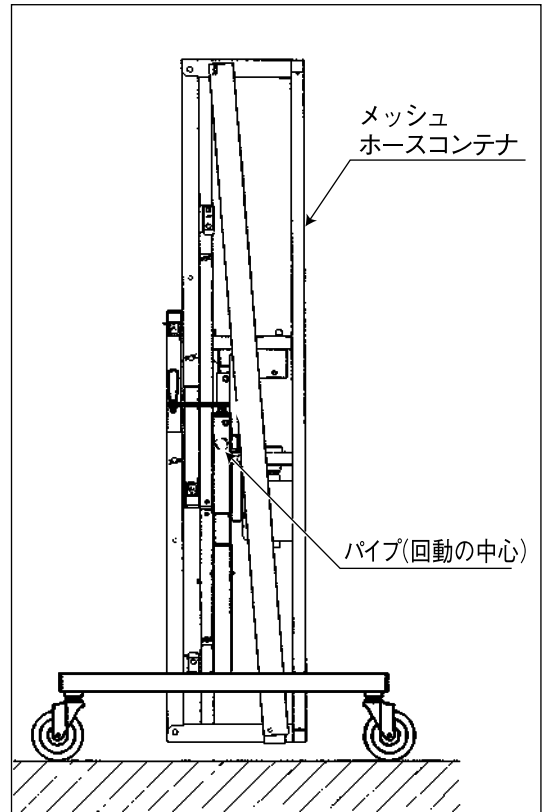
- ②本機型式 KD-131GLのときは、メッシュホースコンテナの支柱を格納状態にし、ゴムワをフレームのピンに引っ掛け支柱の開き防止をする。(図3参照)



- ③収納台を取付ける。(P5参照)
④サポート先端の穴にロックピンと抜け止めピンを差込む。



- ⑤回転に支障のない、広く平らな場所に移動する。
⑥ロックピンのロックを解除し、ロックピンを抜く。
⑦本体を手でささえながらゆっくりと回転する。



- ⑧回転後、必ずロックピンを差込み、ロックする。

仕 様

| 型 式 | | KS-51G | |
|------------------------|---------------------------|--|----------------|
| 装 着 機 種 | | KD-200GL,200GK,200GH, KD-200GV1,200GV1K | KD-131GL |
| 大 き さ | 装 着 時 の 全 幅 (mm) (内 幅) | 1700 (1610) | 1900 (1810) |
| 重 量 (kg) | | 14.8 | |
| メッシュホースコンテナ装着時地上高 (mm) | | 510~900 | |
| 調整ピッチ (mm) | | 30 | |
| 適 応 車 輦 | | 軽 四 | |

注) 車種により使用できない場合がありますので、車輦の荷台床面高さを確認してください。

安全確認一覧表

【基本事項】

| |
|---------------------------|
| 1. 作業管理者を決めること。 |
| 2. 作業に適した健康人であること。 |
| 3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。 |
| 4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。 |
| 5. 不当な改造をしないこと。 |

【作業について】

| |
|---|
| 1. 安全ラベルの注意事項を守ること。 |
| 2. 作業場所の明るさに注意をはらうこと。 |
| 3. 高さ調節ピンは、スナップピンで確実に抜け止めをすること。 |
| 4. メッシュホースコンテナが空のときだけ使用すること。 |
| 5. 着脱作業は水平で凹凸のない固い地面で行なうこと。 |
| 6. 移動時は必ずロックピンを使用し、確実にロックすること。 |
| 7. 移動は水平で凹凸のない固い地面を選んで、ゆっくりと行なうこと。 |
| 8. 段差やくぼみを乗り越えるときは、無理に押し引きせず、本体を持ち上げて乗り越えること。 |
| 9. メッシュホースコンテナを下げるときはコンテナ本体の下に指をはさまないように注意すること。 |
| 10. 道路走行時は必ずサポートを取外すこと。 |

【点検・格納について】

| |
|--|
| 1. 収納台をセットして保管する場合は転倒しないよう平らな場所に置き、人が乗ったり、物を載せたりしないこと。 |
| 2. メッシュホースコンテナを回動する際は、支柱を格納し、ゴムロープで固定した状態で行なうこと。 |
| 3. 回動の際、抜け止めピンを確実にセットすること。 |
| 4. 回動はゆっくりと行ない、絶対に手を離さないこと。 |
| 5. 回動後は必ずロックピンを差込み、ロックして回り止めをすること。 |
| 6. 保管中は子供を近づけないこと。 |

安全説明確認カード

説明者(販売店・農協)控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名

印

販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

【基本事項】

チェック

| | |
|---------------------------|--|
| 1. 作業管理者を決めること。 | |
| 2. 作業に適した健康人であること。 | |
| 3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。 | |
| 4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。 | |
| 5. 不当な改造をしないこと。 | |

【作業について】

チェック

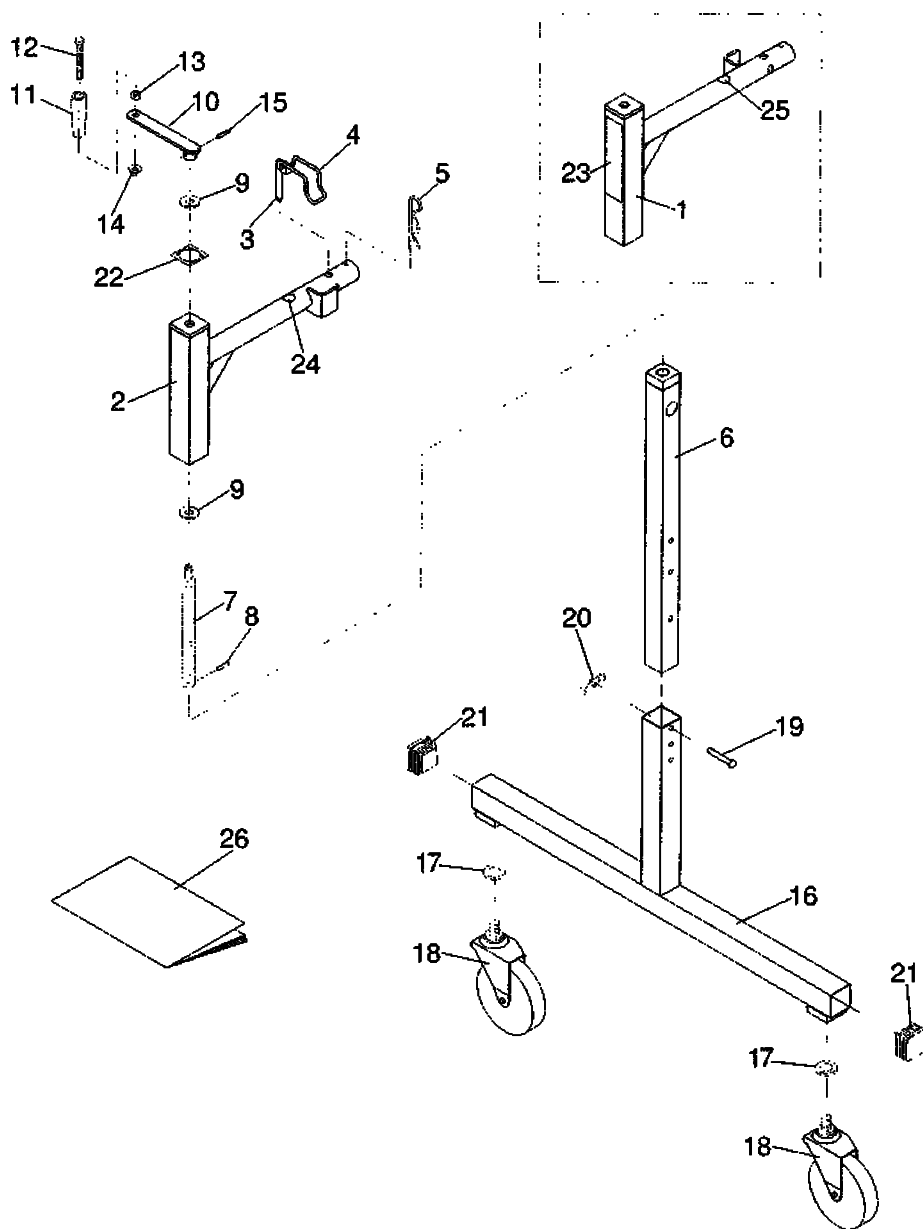
| | |
|---|--|
| 1. 安全ラベルの注意事項を守ること。 | |
| 2. 作業場所の明るさに注意を払うこと。 | |
| 3. 高さ調節ピンは、スナップピンで確実に抜け止めをすること。 | |
| 4. メッシュホースコンテナが空のときだけ使用すること。 | |
| 5. 着脱作業は水平で凹凸のない固い地面で行なうこと。 | |
| 6. 移動時は必ずロックピンを使用し、確実にロックすること。 | |
| 7. 移動は水平で凹凸のない固い地面を選んで、ゆっくりと行なうこと。 | |
| 8. 段差やくぼみを乗り越えるときは、無理に押し引きせず、本体を持ち上げて乗り越えること。 | |
| 9. メッシュホースコンテナを下げるときはコンテナ本体の下に指をはさまないように注意すること。 | |
| 10. 道路走行時は必ずサポートを取外すこと。 | |

【点検・格納について】

チェック

| | |
|--|--|
| 1. 収納台をセットして保管する場合は転倒しないよう平らな場所に置き、人が乗ったり、物を載せたりしないこと。 | |
| 2. メッシュホースコンテナを回動する際は、支柱を格納し、ゴムロープで固定した状態で行なうこと。 | |
| 3. 回動の際、抜け止めピンを確実にセットすること。 | |
| 4. 回動はゆっくりと行ない、絶対に手を離さないこと。 | |
| 5. 回動後は必ずロックピンを差込み、ロックして回り止めをすること。 | |
| 6. 保管中は子供を近づけないこと。 | |

純正部品表



| 図番 | コードNo. | 部品名称 | 数量 | 備考 |
|----|--------------|---------------|----|----|
| 1 | 22840-1111-1 | サポート (RH) | 1 | |
| 2 | 22840-1112-1 | サポート (LH) | 1 | |
| 3 | 22839-1113-1 | ピン (チョウセツ) | 2 | |
| 4 | 22829-2134-3 | スプリング (チョウセツ) | 2 | |
| 5 | 22840-1114-1 | スナップピン (34) | 2 | |
| 6 | 22840-1121-1 | ポスト | 2 | |
| 7 | 22829-1122-1 | ネジ (スライド) | 2 | |
| 8 | 05411-00525 | スプリングピン | 2 | |
| 9 | 23111-1136-3 | φ10.2ザガネ | 4 | |
| 10 | 22836-1123-1 | レバー (チョウセツ) | 2 | |
| 11 | 22837-2116-1 | グリップ | 2 | |
| 12 | 01152-50870 | ボルト | 2 | |
| 13 | 02114-50080 | ナット | 2 | |

| 図番 | コードNo. | 部品名称 | 数量 | 備考 |
|----|--------------|----------------|----|----|
| 14 | 02121-50080 | ナット | 2 | |
| 15 | 05411-00420 | スプリングピン | 2 | |
| 16 | 22835-1131-1 | ポスト (スライド) | 2 | |
| 17 | 22849-1117-1 | O1/2ハネザガネ | 4 | |
| 18 | 22849-1115-1 | キャスタ | 4 | |
| 19 | 24115-1354-2 | ピン (R-52) | 2 | |
| 20 | 05515-50800 | スナップピン | 2 | |
| 21 | 22835-1132-1 | プラグ (45×45) | 4 | |
| 22 | 22829-3111-1 | ラベル (カイトンホウコウ) | 2 | |
| 23 | 22839-2111-1 | ラベル (アンゼン) | 1 | |
| 24 | 22313-4112-1 | ラベル (A) | 1 | |
| 25 | 22313-4113-1 | ラベル (B) | 1 | |
| 26 | 22840-3111-2 | トリアツクイセツメイシヤ | 1 | |

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道工場 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区长嶺南1丁目1番10号
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864
- 大阪営業所 〒590-0808 大阪府堺市堺区旭ヶ丘中町1丁目6番29号
TEL072(245)0797(代) ファクシミリ072(245)0818

品番 22840-3111-2